

報道関係者各位

令和5年8月1日
公益社団法人日本観光振興協会
観光地域づくり・人材育成部門
観光地域マネジメント
担当:北島、大須賀
MAIL: tiki@nihon-kankou.or.jp

観光地域診断ツール「DestinationNEXT」を 取り入れるモデル地域4か所を採択

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山西 健一郎）は、訪日インバウンド客の本格的な復活が迫り、地域では海外観光地との競争に備えて真の受入れ体制構築が必要となる中、令和5年度事業として、観光地域診断ツール「DestinationNEXT」（以下、D-NEXT と略す）を用いた観光地域の現状調査事業実施組織として、一関・世界遺産平泉 DMO（岩手県一関市・平泉町）、鴨川観光プラットフォーム（千葉県鴨川市）、下呂温泉観光協会（岐阜県下呂市）、廿日市市（広島県）を採択することとなりました。

各組織では、観光による地域課題の解決に向け、観光や観光産業、DMO に対するステークホルダー間の相互理解向上、連携構築・強化などの必要性が理解されています。本事業実施を通じて観光地域としての強みと弱み、地域連携の強みと弱みが明らかとなり、課題が抽出されます。来年2月には4地域合同セミナーを実施し、可視化された地域間の共通課題や個別課題に対して、D-NEXT 開発者である Next Factor 社の CEO が各地域へアドバイスを実施します。さらに、観光地域づくりに取り組む方々を幅広く対象としたセミナーを行い、世界の観光トレンドを調査し DM0 の戦略を提案する Futures Study2023 などについて学ぶ機会を提供する予定です。

◆ 今後の予定

8月：当協会から当該地域を訪問、調査実施方法等の説明

10月～11月：オンラインにて D-NEXT を用いたアンケート調査を実施

12月～令和6年1月：Next Factor 社、当協会による課題抽出、分析

令和6年2月：4地域合同セミナー、観光地域づくりセミナー（仮称）実施

◆ 令和5年2月開催 4地域合同セミナーの様子



【参考】

●D-NEXT (DestinationNEXT) とは？ (米国 DI と連携した Next Factor 社が実施)

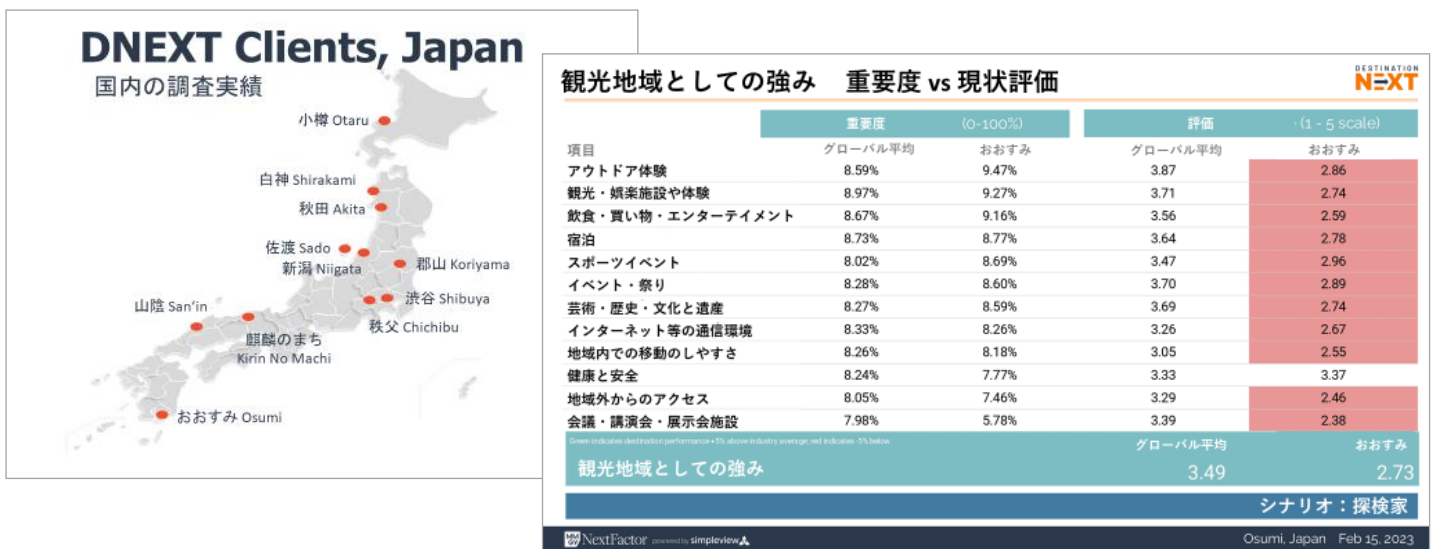
「合意形成」による地域づくりを目指す DMO のための戦略的ロードマップ作成ツール。

- (1) Futures Study とは？ : 世界の 55 か国・700 の地域へアンケート調査を行い、その地域・団体における観光トレンドと戦略をあぶりだし、世界的な傾向を把握 (2014, 2017, 2019, 2021 年実施, 2023 年実施中)。
- (2) Scenario Model とは？ : 「Destination Strength (観光地域としての強み)」と「Community Alignment (地域の連携)」からなる各々の 12 の変数 (項目) ごとに地域関係者・事業者 (ステークホルダー) にアンケートを行い、その結果を既存のモデルと比較してその地域の観光への取り組みを診断し評価するツール。
- (3) 「Futures study」を加味した「Scenario Model」をアンケートから導き出すことで、地域ごとの強みや弱みを可視化し、改良点を見出す。それらを参考にして、地域ごとに特色を持った持続可能な戦略のもと、地域づくりが行えるようになる。すでに 12 か国、350 以上の地域・団体において Scenario Model を実施 (USA, カナダ、メキシコ、スイス、コロンビア、韓国、グアテマラ、台湾、デンマーク、ブラジル、南アフリカ、オーストラリア、日本等)。

●D-NEXT 事業の詳細は日本観光振興協会の WEB サイト「DMO なび」をご覧ください。

https://www.nihon-kankou.or.jp/dmo/news/d-next_top.html

◆ D-NEXT 日本での調査実績および評価結果例



日本では日本観光振興協会が令和 2 年度より以下の 9 地域にて実施した。(その他、令和元年度に秋田犬ツーリズム、東京観光財団が渋谷区にて実施)

令和 2 年度	秩父おもてなし観光公社* 佐渡観光交流機構*
令和 3 年度	新潟県観光協会* 麒麟のまち観光局*
令和 4 年度	おおすみ観光未来会議* 小樽観光協会 あきた白神ツーリズム 郡山市観光協会 山陰インバウンド機構

*) ワークショップ形式で調査を実施した地域